

たぐろ

JFグループ兵庫



特集 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター研究報告 特集 大輪田塾創立20周年記念式典開催

CONTENTS

- 2 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター研究報告
- 4 大輪田塾創立20周年記念式典開催
- 6 令和7年度大輪田塾修了式ならびに入塾式開催
- 7 虹の仲間と海づくりノ
「ひょうごのおさかなフェスタ2025」を開催しました！
- 8 第3回ひょうご豊かな海づくり推進大会を開催しました！ノ
漁港・漁村の魅力を活かした新たなイベントが開催される
- 9 大阪・関西万博ブルーオーシャンドームに出展しました！ノ
救急安心センターひょうご（＃7119）のお知らせ
- 10 ようそろノ浜のイベントカレンダー
- 11 兵庫JCC通信ノ協同組合人養成講座の開催
- 12 SEAT CLUB魚介レシビ

資源管理とは？

資源管理とは、水産資源を枯渇させることなく、持続的に利用できるよう管理する取組のことです。水産資源は再生産する生物資源であり、資源量の変動は環境による影響が大きいものの、漁業の影響も無視できないため、資源の持続的利用には漁業活動の適切な管理が求められます。従来から、漁期の設定や体長制限、禁漁区域の設定など、様々な資源管理の取組が実施されており、投入量規制、技術的規制、産出量規制に大分されます(図1)。これらは、国や県などが課す公的規制や漁業者の自主的な取り組みとして実施されています。それぞれの管理手法の利点と課題を理解し、必要に応じて適切に組み合わせて資源管理を行うことが重要です。

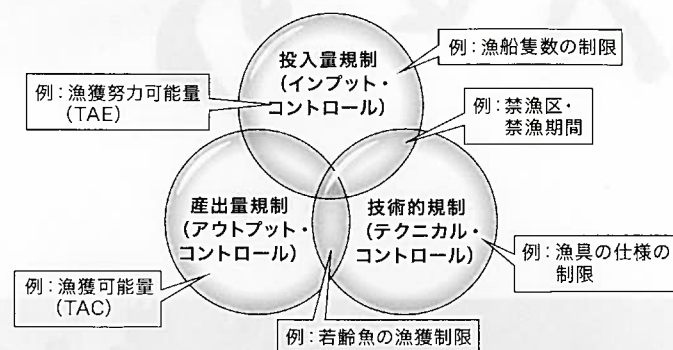


図1 資源管理手法の相関図

出典:水産庁HP

これからの資源管理

これまでも様々な資源管理の取組が実施されてきましたが、水産資源の減少傾向に歯止めがかからなかったことから、平成30年に漁業法が改正され、それまで複数の法律に分かれて記載されていた資源管理に関する規定を改正漁業法に一本化しました。TACによる管理を基本としつつ、資源管理協定による漁業者の自主的な取組を促進すること、資源調査や資源評価の進め方等、資源管理に関する基本原則が明記され、関係者が一体となって資源管理に取り組む方針が示されました。

また、水産庁は、令和6年度～令和12年度にかけての「資源管理の推進のための新たなロードマップ」を公表しており、資源評価対象種やTAC管理魚種の拡大や各種取組の効果検証と高度化、遊漁への資源管理導入の検討等、期間内に進める資源管理の取組内容に加え、回復目標とする漁獲量が示され、資源管理の取組がさらに加速すると思われます。

資源評価と資源管理

TAC等の数量管理を行うには、対象魚種の資源状態や生物学的特性、数量基準の根拠等、水産資源の科学的な知見や評価が必要となります。そこで、資源管理の科学的な基盤となる資源評価を実施します。

資源評価では、①水産資源の調査、②資源の解析・評価、③将来の予測、④管理手法の提案を行います。①では、調査船調査による海洋観測や親魚・卵稚仔魚等調査、市場で漁獲物の測定や聞き取りを行う市場調査等を実施します。加えて、定期的に漁協からの報告をもとにした漁獲統計や水揚げ記録等の漁獲データの集計も並行して進めます。これらのデータは現場の実態を把握するための重要な基礎データとなります。②では、得られた調査結果をもとに、年齢別の漁獲尾数や漁獲努力量当たりの漁獲量(CPUE)、加入量等を算出し、これらを解析することで、資源量や漁獲の強さ、再生産関係を推定します。解析の結果は資源に応じた最大持続生産量(MSY)と比較し(図2)、現状の資源量や漁獲の強さがMSYを達成する水準に対してどの程度にあるかを評価します(図3)。③では、現状の資源状態を把握することで今後の資源動態を予測します。漁獲の強さや環境変動に応じて何度もシミュレーションを行い、資源量の推移を推測します。水産資源は環境変化や漁獲等の影響を強く受けるため、資源量の推移を予測する際にはそれらを考慮し、変動幅を持たせて予測します(図4)。④では、推測した資源量の変動をもとに、複数の漁獲シナリオを試算し、10年後に目標とする資源量を達成する確率を算出します。漁獲シナリオは、TAC数量や管理手法を検討する際の重要な検討材料となります。

最後に

資源評価は資源管理を推進する上で非常に重要な役割を果たしており、適切な資源管理のためには、正確な資源評価が不可欠です。そして、資源評価を正確に行うためには、観測・調査に加え、漁獲状況の聞き取り調査や漁協から報告いただいている漁獲統計・水揚げ記録が極めて重要となりますので、今後ともご協力をお願いします。そして、持続的な漁業のため、引き続き資源管理の取組をよろしくをお願いします。

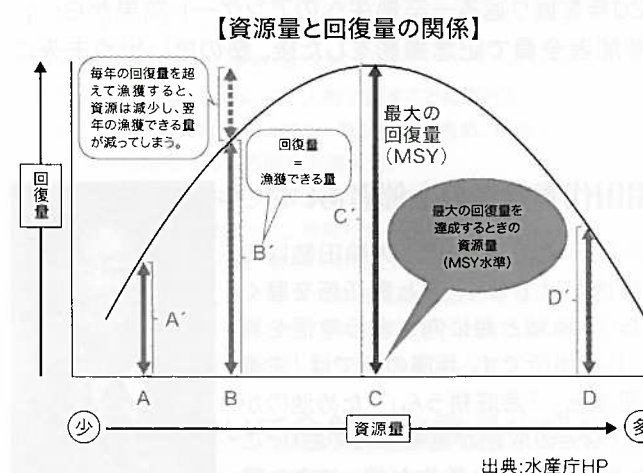


図2 MSYと管理基準の考え方

出典:水産庁HP

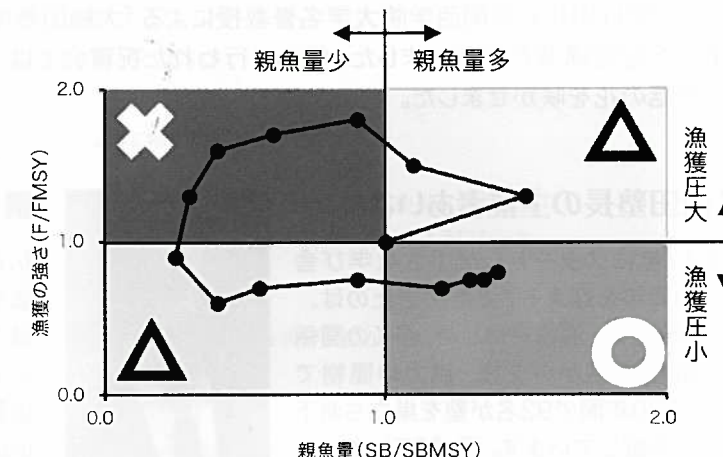


図3 神戸チャートの考え方

将来の親魚量(万トン)

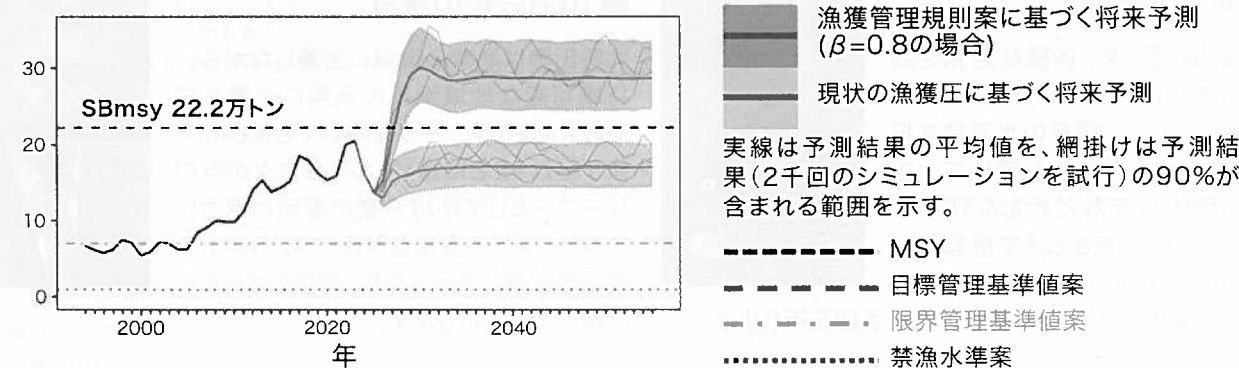


図4 親魚量予測の例

出典:わが国周辺の水産資源の評価 令和6年度ブリ(簡易版)

TAC (漁獲可能量)

水産資源ごとに一年間に採捕することができる数量の最高限度として定められる数量

IQ (漁獲割当て)

TACを個々の漁業者又は漁船に割り当て、割当量を超える漁獲を禁止する産出量規制の方式

MSY (最大持続生産量)

その資源にとって、現状の生物学的・非生物学的環境条件のもとで持続的に達成できる最大(あるいは高水準)の漁獲量

平成17年10月に開講した大輪田塾が創立20周年を迎えるにあたり、10月28日(火)シーサイドホテル舞子ビラ神戸のあじさいホールで大輪田塾創立20周年記念式典が行われました。

式典は一般財団法人兵庫県水産振興基金と大輪田塾OB会の共催で行われ、これまで大輪田塾の運営に関わってきた兵庫県および漁業関係団体の関係者並びに大輪田塾OB会会員など併せて100名が一堂に会し、大輪田塾のこれまでの振り返り、これからに思いを巡らしながら20周年を祝いました。

式典の第1部では山田智昭大輪田塾塾長、相田欽司大輪田塾OB会代表幹事による式辞に続き、守本真一兵庫県農林水産部長、田沼政男JF兵庫漁連代表理事会長による祝辞、戎本裕明大輪田塾OB会初代代表幹事による喜びの言葉がありました。

第2部では田和正孝関西学院大学名誉教授による「大輪田塾の20年を振り返る一卒塾生へのアンケート結果から」と題した記念講演が行われました。続いて行われた祝賀会では、参加者全員で記念撮影をした後、塾の思い出や未来について話の花を咲かせました。

■ 山田塾長の主催者あいさつ

平成17年にスタートした小さな学び舎が、20周年を迎えることができたのは、県・系統団体・漁協をはじめ、多くの関係者の皆様の温かい支援・協力の賜物です。この20年間で92名が塾を巣立ち県下各地で活躍しています。平成27年には大輪田塾OB会が組織され、浜のネットワークもより強くなっています。式典が大輪田塾のこれまでの振り返り、これからに思いを巡らせる契機となることを願います。



■ 相田代表幹事的主催者あいさつ

私たちOB・OGにとって、大輪田塾は知識や技術だけでなく、志と責任感を磨く場であり、地域と海に向き合う覚悟を育ててくれた場所です。兵庫の海では「栄養塩管理運転」「海底耕うん」「ため池のかいぼり」などの取組が進められており、こうした現場の努力は塾生が培ってきた精神と重なります。OB会も次世代へと志をつなぐ役割を果たし、塾の理念と実践を未来へと継承していきます。



■ 守本部長の祝辞

平成17年の開講以来、多様な活動を通じて人材育成を進め、多くの優秀な人材を輩出してきました。将来の水産産業を担う存在として大変頼もしく感じています。海洋環境の激変など新たな課題に対応するため、時流をとらえて挑戦するリーダーが必要です。これからも大輪田塾のさらなる発展、塾生の一層の研鑽と活躍を祈ります。



■ 田沼会長の祝辞

大輪田塾は漁業の現場に密着しながら、持続可能な地域漁業の発展に必要な知見と人的ネットワークを築いてきました。修了生は92名に達し、多くの方々が浜のリーダーとして地域漁業の振興に尽力しており、地域の貴重な財産です。今後も大輪田塾が道しるべとなり、塾生のさらなる研鑽と活躍を祈ります。



■ 戎本初代代表幹事の喜びの言葉

塾で、人に尋ね、伝えることの大事さを認識し、人との関係性が物事を動かす大きな力になる気付きを得た。近年、塾生の表現力は向上し、考えを堂々と述べる姿を頼もしく思う機会が増えた。漁業の課題は複雑化が予想され、連携と政策提言が求められる中、大輪田塾の果たす役割はますます大きくなるだろう。



(一財) 兵庫県水産振興基金は、大輪田塾20年の歩みを記録する記念誌の発行と記念式典の開催に向けて、開講以来、運営委員として塾を支えていただいた田和先生に論文執筆と講演を依頼したところ、先生は全卒塾生を対象にアンケート調査を行うなど、論文「大輪田塾の20年、その成果と課題」の作成に力を注いでくださいました。この論文のほか、関係者の寄稿文や写真で振り返る大輪田塾、関係資料などを掲載した『大輪田塾創立20周年記念誌』を関係団体の皆様に配布しますので是非ご覧ください。



～塾生OB・漁協系統団体・県など関係者が一堂に会した節目の式典～

■ 田和名誉教授の記念講演

記念講演で田和先生は大輪田塾のこれまで、アンケート結果に基づく評価や今後の課題などについて、わかりやすくお話をいただきました。詳細については『大輪田塾創立20周年記念誌』に掲載している論文「大輪田塾の20年、その成果と課題」をご覧くださいこととし、ここでは、アンケートの自由記述欄に記された卒塾生の生の声を紹介します。



卒塾後に経験した変化

- ・系統団体、県職員、他地域の漁業者との意見交換がしやすくなった。
- ・他の漁協組合員との付き合いが増えた。
- ・塾生の同期との繋がりを持つことができた。
- ・修了論文の口頭発表によって、人前で話すことに慣れた。
- ・どのような集会(会合)に臨んでも、急な対応を含め、挨拶ができるように準備するようになってきた。
- ・質疑したり応答したりする機会が増えた。
- ・地域を越えた横のつながりが生まれ、他地域の人の意見を聞くことができるようになり、それに応じて自身の考え方にも変化がみられた。
- ・卒塾後、漁協の理事となった。地域社会の団体にも所属し、奉仕活動などをおこなうとともに、その団体の役員を務めるようになった。
- ・卒塾生同士のつながりは、最初の期待にたがわず、現在も楽しく続けている。
- ・塾生同士の繋がりが、水産業界の情報交換の場として機能するようになった。
- ・他人の意見を聞き、そのうえで自身の見解を述べたりできるようになり、結論やゴールに向かって進める視野が広がった。
- ・他の漁業者からの質問などに、答えられるようになった。

大輪田塾について全般的な意見や感想

- ・本業界にとっては重要な研修機関であると考え。塾がさらに「より良い場所」へと変わってゆくことを望む。
- ・但馬地域からの漁業者の参加が増えるように、改善等を願いたい。
- ・修了論文作成というのが入塾をためらう理由になっていたが、入塾後は指導員の助力もあり、無事に卒塾できた。
- ・自慢することではないにせよ、卒塾生であることを誇りに感じる。
- ・淡路島内の漁協において(特に南部)では大輪田塾の存在がまだまだ周知されていないように感じる。より良い人材を確保する意味でも、もう一度PR活動を願いたい。
- ・漁協職員であり業務を優先しなければならず、OB会や修了論文発表会への参加がままならず、残念に感じている。運営委員や事務局には大輪田塾の所期の理念を引き継いで、世代交代も考えていただきたい。
- ・就業してからは他の水産業の仕事などを学ぶ機会がなかなかなかったため、大輪田塾はありがたかった。様々な知見を得ることが出来た。今後の仕事に活かしたい。
- ・「漁師」は自らおこなう漁業種類以外の人と付き合うことがなく、また同じ漁港の仲間としか付き合うことがなく、世間が狭いと感じてきた。大輪田塾で学んだことによって、様々な人たちと知り合えたことがよかった。
- ・塾生となったことで、各単協の思いや系統団体の役割や仕組みがよく理解できた。勉強になった。今後も大輪田塾が継続され、勉強の場が与えられてゆくことを望みたい。そして若い塾生が学び、それを活かして一段と活躍することを望んでいる。
- ・卒塾後も活動、繋がりを充実させていきたい。
- ・前向きな人たちの集まりであり、塾生と話をすると頑張ろうという気持ちになった。現在でも卒塾生同士の関係が続いており、仕事がとてもやりやすい。
- ・系統職員という立場で最初は戸惑いも感じていたが、大変素晴らしい経験であった。日常業務につながる人脈もひろがった。
- ・塾の組織自体もどんどん大きくなっており運営経費もかさむかと想像する。経費倒れで事業を存続できなくなることは残念であるので、様々にやりくりしながらも未来永劫に続けてほしいと思う。「目指せ100期生!!」
- ・これだけ活動が続いてきたことは、大輪田塾が間違いなく有意義で先進的な取り組みであったと思う。事務局には大変感謝したい。
- ・大輪田塾に入塾して得られた最も大きなことは「自分から、自分で」行動しようという意識の拡大であった。
- ・卒塾後に受講できるような「短期講習」でも整えられれば、是非とも受講したい。
- ・指導や事務業務にあたってきた皆さんには、今後とも兵庫県漁業の将来をになう若い世代に力添えをぜひ願いたい。
- ・入塾を希望したのは、卒塾後には多くの繋がりを得られると考えたからであり、実際にそのようになった。また、現在も、若い塾生とかかわりを持っており、大いに刺激になっている。
- ・現場ではなかなかできなかった勉強の機会を与えられ、感謝している。
- ・就学期間を終えてから学びは経験なかったので、講義を受講するだけでも良い経験であった。これからも続けてほしい。
- ・2年間在塾するかしないかで、今後の人生にとって分岐点になると思うほどであった。
- ・全体として漁業者の入塾が少ないように感じる。漁業者が継続して入塾し、続けられるように願っている。
- ・大輪田塾において経験できたことは、自身の仕事を見つめなおし、その後の仕事を行ううえでも大きな影響を残した。今後もOBとして恥じぬよう、仕事を続けていきたい。
- ・自分を高め、人前で話ができるようになり、良い勉強、体験の機会となった。人とのつながりも築けた。
- ・県内の漁業者にとって、優秀な人材が育つ意味がある取り組みであると思う。卒塾生として誇らしくある。

令和7年度 大輪田塾修了式ならびに入塾式 開催

～第19期生修了 21期生入塾～

幅広い視野をもった将来の水産業界をリードしていく「浜のリーダー」を育てることを目標に様々な研修・講義を行っている大輪田塾で令和7年度修了式ならびに入塾式を執り行いました。今年度は10月28日（火）シーサイドホテル舞子ビラ神戸のあじさいホールで45名が出席するなか、19期生5名が修了するとともに21期生5名が入塾しました。開会にあたり、大輪田塾事務局長 小林孝司（兵庫県水産振興基金専務理事）から「19期生5名が優秀な成績で修了するとともに、5名の21期生が晴れてこの塾に入塾することができました。このように大輪田塾が式典を盛大に開催できますことも、兵庫県や系統団体、さらに塾生を温かく送り出していたいただいた漁業協同組合の皆様のご支援の賜物でありまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。」と挨拶がありました。

修了式では修了生が一人ずつ山田智昭塾長から修了証書を手渡された後、それぞれ決意の言葉を述べました。

その後、20期生の酒部広志さん（JF仮屋）から「本日、修了式を迎えられたことについては、少々寂しい気持ちもありますが、入塾してくる21期生とともに塾を盛り立て、頑張っていきたいと思います。」と送る言葉を受けた5名は決意を新たに修了しました。

入塾式では新入生代表の鳥居聖矢さん（JF明石浦）から「この学びの場で、これから頑張る仲間たちと共に勉強をし、地域や兵庫県の水産業の発展に一日も早く役立てるように努力していきたいと考えております。」と誓いの言葉を述べたのち、20期生 松本一輝さん（JF神戸市）から「ここでの経験がきっと自らの業務はもとより、浜の発展の力になってくれます。明日の漁業のために、一緒に頑張っていきましょう。」と歓迎の言葉が贈られました。



所属	氏名
JF兵庫	佐々木 徹
JF神戸市	松下 直人
JF林崎	鈴木 柊
JF仮屋	濱邊 恵太
JF一宮町	桑名 侑作

（敬称略）

修了生の記念撮影

（前列左から：桑名さん、濱邊さん、JF兵庫漁連 田沼会長、大輪田塾 山田塾長、兵庫県農林水産部 守本部長、鈴木さん、松下さん、佐々木さん）



所属	氏名
JF神戸市	山田 将壱
JF明石浦	鳥居 聖矢
JF林崎	伊藤 冬馬
JF南あわじ	菅 史登
JF浜坂	中井 隆太

（敬称略）

入塾生の記念撮影

（前列左から：中井さん、菅さん、JF兵庫漁連 田沼会長、大輪田塾 山田塾長、兵庫県農林水産部 守本部長、伊藤さん、鳥居さん、山田さん）

虹の仲間で海づくり ～明石大蔵海岸で開催～

JF兵庫漁連と兵庫県生活協同組合コープこうべ、兵庫県、明石市及び神戸市で構成されるひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会が主催する「豊かな海を食べる・学ぶ・体験する」をテーマに、豊かで美しい海の必要性を広く県民にPRすることを目的とした「虹の仲間で海づくり」が10月5日（日）明石大蔵海岸で開催されました。当日は、あいにくの雨天ではありましたが大人と子ども合わせて95名が参加しました。

同協議会 田中稔彦会長による開会の挨拶の後、JF兵庫県漁連 樋口和宏 課長の説明が行われ、豊かな海とは、また豊かな海づくりには何をしたらいいのかを学びました。その後、参加者は2班に分かれ「施肥とアサリの放流」、「海中

観察」を行いました。

施肥とアサリの放流では、砂浜に穴を掘り肥料を埋めて、海に栄養を送りました。そして、種苗のアサリを海に放流し、アサリ資源の維持に取り組みました。また、ひょうご豊かな海づくり協会から提供されたアサリの世代別種苗の展示もあり子供たちは興味津々でした。

海中観察では、水中ドローンを操作し、海中の観察を行い、待ち時間にはタッチプールで魚と触れ合う子供たちも多く、普段見ることのない魚の姿に子供たちは大喜びでした。

本イベントを通じて、豊かな海の大切さや海の環境を守ることの意義について学び、体験を通じて理解を深める一日となりました。



田中会長の挨拶の様子



施肥作業の様子



水中ドローンを操作する様子

「ひょうごのおさかなフェスタ2025」を開催しました!

兵庫県環境部水大気課

2025年9月21日（日）に「漁連の魚屋加古川店」があるアリオ加古川において「ひょうごのおさかなフェスタ2025」が開催されました。兵庫県の魚の魅力や美味しさを知ってもらい、豊かな海づくりの大切さを発信するイベントですが、残暑が厳しい中にも関わらずタッチプールやエビ釣りなどの体験ブースは多くのお客様で大盛況となりました。子どもたちに大人気の「さかなのおにいさん かわちゃん」のトークショーのステージ前では、特等席に陣取ろうと早くから親子連れが集まり、かわちゃんお得意のお魚クイズに、魚好きの子供たち



は大興奮でした。また、このイベントは9月20日（土）に販売を開始した「ひょうごカーボン・オフセットのり※」のPRを兼ねており、店内の漁連の魚屋で行われた巻きずしの試食にも長蛇の列ができました。兵庫県水大気課里海再生班とひょうご豊かな海づくり県民会議は、今後も豊かな海づくり活動の支援、情報発信に取り組みます。



※「ひょうごカーボン・オフセットのり」はJF兵庫漁連の限定商品「むかし海苔」の製造工程で排出される二酸化炭素を県内の森林管理活動で創出されたカーボン・クレジットを購入することでオフセット（相殺）したもので、本商品の購入によって豊かな海づくりと豊かな森づくりを応援することができます。

第3回ひょうご豊かな海づくり推進大会を開催しました!

兵庫県環境部水大気課

ひょうご豊かな海づくり県民会議は、2025年10月18日(土)・19日(日)に県立明石公園で第3回ひょうご豊かな海づくり推進大会を開催しました。昨年同様、「兵庫県民農林漁業祭」との同時開催で、15の会員団体がブース出展し、様々なワークショップや趣向を凝らした展示などで豊かな海づくり活動をPRしました。心配された雨もほとんど降らず、2日間で約21,000名(18日:11,000人、19日:10,000人)と昨年の1.5倍の人出となり、どのブース也大賑わいとなりました。

県民会議ブースで配布した缶バッジやシールなど豊かな海グッズは子ども達に大人気で、何度もブースに駆け込んでくる子がいるほどでした。他にも漁網を使ったワークショッ

ひょうご豊かな海づくり県民会議



プや様々な魚礁メーカーの展示、兵庫県産ののりを使ったポテトチップスの試食販売など、子どもから大人まで幅広く楽しみながら豊かな海に思いを馳せる2日間となりました。ひょうご豊かな海づくり県民会議は今後も様々なイベントを通じて、多くの方へ豊かな海づくり活動の普及啓発を目指して参ります。関係者の皆様、ご来場の皆様、ありがとうございました。



漁港・漁村の魅力を活かした新たなイベントが開催される

～丸山漁港、明石新浜で多様な団体と連携して実施～

9月27日(土)、28日(日)に海業推進地区に指定された丸山漁港で、まるやまFESTIVAL 2025実行委員会主催の「淡路島まるやまFESTIVAL 2025」が初開催。共催団体に丸山地域づくり協議会・南あわじ漁業協同組合・株式会社まるやまと、後援に南あわじ市・南あわじ市教育委員会が名を連ねる地域挙げてのイベント。漁船クルーズ、釣り・魚調理体験、タッチプール、カンファレンス等の水産関係イベントのほか、音楽ライブ、野外シネマ、花火、浜焼きBBQなど盛りだくさんの催し物が行われ、多くの家族連れや若者が自然・食・体験を楽しみました。

また、9月28日(日)に明石浦漁業協同組合とその周辺地

域で、一般社団法人すまい研主催の「明石新浜軒先マルシェ」が初開催。共催団体にまちづくり大観地区協議会・明石浦漁業協同組合、後援団体に明石市、協力団体に一般社団法人neo-waveが名を連ねる地域ぐるみのイベント。まち全体を商店街に見立て、地域を散策しながら買い物を楽しむ企画で、ゴールの明石浦漁協ではエビ釣りや魚拓づくりなどの体験、鮮魚やハンドメイド小物などの買物、地魚を使った丼等の飲食を楽しむ人達で賑わいました。

ともに爽やかな潮風に吹かれながら、ゲスト・ホスト双方が笑顔溢れるイベントでした。



丸山漁港(カンファレンス)の様子



JF明石浦の様子

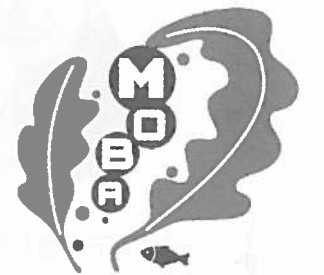
大阪・関西万博ブルーオーシャンドームに出展しました!

兵庫県環境部水大気課

MOBA※は2025年9月26日(金)に大阪・関西万博内のブルーオーシャンドームに出展し、藻場創出の活動に関する情報発信をしました。当日は2部制で、前半は大阪府職員、香川大学の末永教授、MOBA会員から日鉄神鋼建材(株)の魚礁営業担当者が登壇し、基質による藻場創出の取組を中心に発表されました。後半の兵庫県パートではJF兵庫の糸谷理事とMOBA会員であるJOHNAN(株)の上野課長代行が登壇し「漁業者とテクノロジーで挑む海づくりの未来」をテーマに語り合いました。糸谷理事は漁業者として兵庫運河での取組とその経験から、漁業者が藻場等の海洋環境を守ることの重要性を、上野課長代行は水中ドローンの活用によって海の現状を見える化し、地域住民が海を身近に感じられる未来を作りたいと、それぞれ思いを語ってくださいました。お2人ともお子さんの話を交えながら10年後

の豊かな海に思いを馳せ、笑いや、時に感極まった涙も見られるほど気持ちのこもった熱いトークが展開されました。詳しい様子はYouTubeの「ブルーオーシャンドーム公式チャンネル」のアーカイブ配信から見る事ができますので、ぜひQRコードからご覧ください。

※大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance)のこと。大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系の回廊で繋ぐ「大阪湾MOBAリンク構想」の実現を目指して大阪府と共同で設立。



Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance



◀当日の様子はこちら

救急安心センターひょうご(#7119)のお知らせ

兵庫県

急な病気やケガ... 救急車を呼ぶべき? 迷ったら... どうしよう...

救急安心センターひょうご

シャープ ナナ イチ イチ キュー

#7119

救急車を呼ぶべきか迷った時や、どの医療機関をいつ受診すればよいかわからない時に、24時間いつでも相談を受け付ける増設ダイヤルです。

直通ダイヤル ☎078-331-7119

※IP電話及び市外局番06または072の固定電話等からは、直通ダイヤルにおかけください。

救急医療相談 緊急性や受診の必要性についてアドバイス

医療機関案内 受診可能な医療機関の案内

2025年7月11日(午前9時)から 兵庫県全域で#7119が利用できます

救急安心センターひょうご運営委員会 (構成: 兵庫県と県内全ての市町)

たとえばこんなとき

■ 熱が下がらない ■ 急に腹痛がなくなった ■ 夜中にけがをしてしまった

相談の流れ

#7119に電話する

※回線が混雑しているときはガイダンスに従いそのまゝしばらくお待ちください。

救急医療相談 医療機関案内

相談員が対応 (看護師または救急救命士) 病状やけがの状態を把握 緊急性について判断

受診できる医療機関を案内 受診するタイミングをアドバイス

119番を案内 119番を案内 119番を案内

※特に緊急性が高い場合は、そのまゝ119番へ電話転送。お身体によっては119番で119番へかけていただく必要があります。

救急医療相談は、救急医療に関する相談・健康・育児に関する相談は対象外です。救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。救急医療相談に関する方は電話リレーサービスをお使いいただけます。相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。

救急医療相談は、救急医療に関する相談・健康・育児に関する相談は対象外です。救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。救急医療相談に関する方は電話リレーサービスをお使いいただけます。相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。

救急医療相談は、救急医療に関する相談・健康・育児に関する相談は対象外です。救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。救急医療相談に関する方は電話リレーサービスをお使いいただけます。相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。



良妻賢母

播磨地区漁協女性部連合会 副会長 隅谷 成美

私は第一次産業を支える漁師の妻であり、7人の子どもを育てる母です。結婚当初は勿論今のような生活は想像もしておらず、子育てにおいては男児3人年子でどのようにして子育てをしてきたのか覚えてもいませんし、結婚した頃は海苔も悪く水産も大変だったようですが初めてのことで生活に必死だったと思います。その後さらに男児2人、双子の女兒が生まれ、あっという間に7人の母となりました。どうやら生き物を育てるのが好きなのか四国犬まで2頭も家族になり、リビングではカメが2匹散歩。自分のことは後回しで、土日は子どもの部活の応援に家事育児、冬は海苔工場での作業。さらに子どもの小中学校ではPTA会長を務めることにも

なり、不思議と色々な役回りが巡ってきました。それもお縁と捉え、引き受けてきました。

そのご縁の一つとして、長男が小学3年生の時（現在25歳）から、地域の小学校と連携し「海苔工場見学」と「海苔づくり体験」の受け入れを続けています。海苔のことですから、時化など天候の影響で漁に出られない日もあり、工場見学の日程を合わせるのは決して安易ではありません。それでも子どもたちが大人になり林から引っ越しても「私たちが育った林の海苔はおいしい」と思い出してくれるといいな、そんな想いで続けてきました。今年も小学3年生のみんなが楽しみにしてくれているので、私自身も今から楽しみにしています。

女性部の部長としての活動には、PTA会長の経験が大いに役立ちました。しかし時代とともに人も考えも変わり、コロナ禍もあり活動の形も随分と変化しました。今後のことを考えると今がチャンスかなと思い、組合をはじめ周りの皆さんに協力いただきながら、女性部の活動の見直しを重ね、より良い形を模索しています。

私はいつも出会う方に助けてもらうことも多く、とてもラッキーだなと感じ色々な事に感謝ができるようになりました。海をはじめ自然界の変化を肌で感じ不安もありながら感謝を残していきたい漁業。我が家では4人の息子たちが漁師をしています。私たち夫婦や周りにいる漁師の人々を見ながら育ち自ら継承したい想いをもって日々頑張っています。

題名の「良妻賢母」私は近代的女性の育成として良き妻、良き母、良き社会への貢献者を教育理念に掲げた大学を卒業したのですが今となっては古い考えかもしれません。ですが私のベースになっているのかもしれないですね。

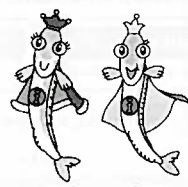
何事も楽しむことがモットーですのでこれからも楽しく様々な活動を通してたくさんの方々と出会って欲張り人生を生きていきたいと思っています!!



浜のイベントカレンダー

開催日時	イベント名	開催場所	主催者
毎週土曜日13:30～	土曜市	垂水漁港荷捌所	JF神戸市
11月15日(土) 9:00～	第38回 浜坂みなとカニ祭り	浜坂漁港せり市場	浜坂みなとカニ祭り実行委員会
11月16日(日) 9:00～	第41回 香住松葉がにまつり	香住漁港西港	香美町香住観光協会
11月19日(水) 13:30～	漁業デー	垂水漁港荷捌所	JF神戸市
11月22日(土) 8:30～	第35回 とよおか津居山港かにまつり	豊岡市立港西小学校跡	とよおか津居山港かにまつり実行委員会
11月22日(土) 9:30～	淡路市水産まつり	淡路島タコステ内	淡路市漁業振興協議会
11月22日(土) 10:00～	朝市	淡路島タコステ内	JF淡路島岩屋 広報部
11月23日(日) 10:00～	とれびちフェスタ	セリオ西神南	ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会
12月3日(水) 13:30～	漁業デー	垂水漁港荷捌所	JF神戸市

浜の賑わいづくりにご活用下さい。
掲載希望の団体様は兵庫県水産振興基金まで。
皆様からのご連絡をお待ちしています。



JA淡路日の出 株式会社 五斗長宮農 地域一体となった農地の保全活動に取り組み、 「一集落一農場」を実現する

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します!

Q1. 株式会社 五斗長宮農の成り立ちについて教えてください

五斗長地区は、平成16年に発生した台風によりほとんどの農地で耕作が出来なくなりました。元々、地域では耕作放棄地が増加していたことから、災害の復興を機に集落内の農地の管理方法を見直せないかと考えるようになりました。

そこで、集落内の農地を集約し、効率的な耕作を図ることを目的に平成21年に株式会社 五斗長宮農を設立しました。現在は、タマネギ、水稲、レタスの3品目を栽培しており、部会全体の耕作面積は15.7haに上ります。

Q2. 株式会社 五斗長宮農の取り組みについて教えてください

五斗長宮農では、集落の農地を一つの大きな農場と見立て、住民全員で管理する「一集落一農場」を目指しています。集落全体で協力することで、農業機械の貸し借りや害虫の発生状況等の情報共有が可能となり、安定した収穫量の確保につながっています。

Q3. 株式会社 五斗長宮農の特徴について教えてください

五斗長宮農では、台風被害の復興作業の過程で発掘された五斗長垣内遺跡の保全活動に積極的に取り組んでいます。現在、この遺跡は多くの観光客が訪れる観光地となっているため、遺跡周辺の草刈り等を行い、美しい景観の維持に努めています。

Q4. 現在、力を入れている取り組みについて教えてください

五斗長地区や淡路島で採れた食材の消費量の拡大や認知度向上のため、レストランを運営しています。多くの方に自慢の食材を味わっていただきたく、全国的に物価が高騰している中でも、ランチを880円というリーズナブルな価格で提供しています。

Q5. 今後の目標について教えてください

集落一体となった保全活動を継続し、五斗長地区の農地や文化財を守っていきたくと考えています。

また、昨年度に実施した学生向けの農業体験が好評であったことから、今後も農業の魅力を発信する機会を設け、五斗長地区の維持・発展を担う新規就農者の確保に取り組んでいきます。



<https://ja-grp-hyogo.or.jp/>

第36回近畿地区生協・ 行政合同会議 開催

テーマを「つなげる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」として、第36回近畿地区生協・行政合同会議が都シティ大阪天王寺で開催されました。近畿地区生協府県連協議会が主催となり、福井・滋賀・奈良・和歌山・京都・兵庫・大阪の生協担当主幹部局、および各生協府県連の役員ら34人が出席しました。

開催地行政より大阪府府民文化部 松坂博文部長、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課消費生活協同組合業務室 日野徹室長、日本生活協同組合連合会渉外広報本部 松本圭司執行役員本部長からあいさつや報告がありました。

そして、特別報告として長野県高齢者生活協同組合副理事長、日本協同組合学会元会長 田中夏子氏から「つなげる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」と題して、地域から紡ぐ協同として長野県高齢者生協の取り組みや活動の紹介、後半は協同組合の位置づけや今後のあり方についてお話をいただきました。

また4つの生協および団体から実践報告と質疑応答を行いました。

近畿地区の生協・生協連と行政の意見交流など、生協に携わるさまざまな人の交流を図ることができました。



厚生労働省 日野徹室長



近畿地区の行政担当者、生協役員など34人が集まりました

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



協同組合人養成講座 11月講座のご案内

協同組合人養成講座(11月講座)は、休講させていただきます。
次回講座は日程が決まり次第、ご案内させていただきます。

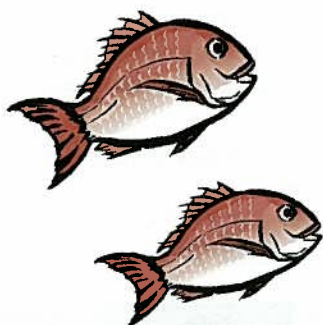


保存版

今が旬の魚介で作る！ 簡単!! 魚介レシピ

鯛 カツレツ

～ 簡単でボリュームミー ～
お子様も食べやすい1品です！



【材 料】 (作りやすい分量)

鯛	片身
塩	少々
コショウ	少々
小麦粉	適量
溶き卵	1 個分
パン粉	適量
サラダ油	適量
ベビーリーフ	1 袋
トマト	1 個

【作り方】

- ① 鯛は中骨を取り塩・コショウして味をなじませ、浮き出た水分は拭き取る。
- ② ①に小麦粉を薄くはたき、溶き卵・パン粉の順に衣をつけ、フライパン一面に油を熱しカリッと揚げ焼きする。
- ③ フライパンの油をふき取り、刻んだトマトを入れ 塩・コショウして炒めとろみを出し、トマトソースを作る。
- ④ 皿にベビーリーフを敷き、鯛カツレツを盛り、上にトマトソースをかける。



Instagram

ポイント！塩・コショウして味をなじませた後、
余分な水分をとること。

ひょうごのお魚ファンクラブ

SEAT CLUB



表紙の言葉



大輪田塾創立20周年記念式典

祝賀会場の参加者100名をドローンでパチリ。撮影後のパーティーでは、食事をする間も惜しんで話の花を咲かせていました。その熱気をお伝えできないのが残念です。関西学院大学田和正孝名誉教授の記念講演をはじめ、式典の様子は本誌4～5ページをご覧ください。